

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（国語科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

1年次の科目「現代の国語」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識（語彙、表現に気を付けること、常用漢字を適切に用いること、実社会で用いる文の組み立て方や比喻表現などを理解すること）や技能を身に付けている。	話すこと・聞くこと・書くこと・読むことに関する事項（目的や場に応じて適切な話題を決めて検討すること、自分の考えが的確に伝わるよう論理展開を考えること、表現の特徴をとらえて相手の理解が得られるように工夫すること、論理展開を予想しながら聞いて聞き取った情報を整理して自分の考えを深めること、論点を共有して考えを広げながら議論の進め方を工夫すること、文章の種類を踏まえて内容を的確にとらえながら要旨を把握すること）を身に付けている。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図ろうとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・毎回の授業で教科書を用います。教科書の特性上、本文理解ということがとても重要です。教科書の用意を忘れないようにしてください。また、必要に応じてタブレットを使用する場合があります。
- ・年間5回の定期考査に加えて、提出物が重要な評価材料となります。しっかりと取り組んでください。
- ・授業中の態度や取り組みの様子も評価材料になります。
- ・Microsoft Teams で学習の指示をする場合がありますので、毎日確認をしてください。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（国語科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

1年次の科目「言語文化」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識（言葉には思考が関係すること、表現に気を付けること、常用漢字を適切に用いること、実社会で用いる文の組み立て方や比喩表現などを理解すること）や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	話すこと・聞くこと・書くこと・読むことに関する事項（目的や場に応じて適切な話題を決めて検討すること、自分の考えが的確に伝わるよう論理展開を考えること、表現の特徴をとらえて相手の理解が得られるように工夫すること、論理展開を予想しながら聞いて聞き取った情報を整理して自分の考えを深めること、論点を共有して考えを広げながら議論の進め方を工夫すること、文章の種類を踏まえて内容を的確にとらえながら要旨を把握すること）を身に付けている。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図ろうとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

・毎回の授業で教科書を用います。教科の特性上、本文理解ということがとても重要です。教科書の用意を忘れないようにしてください。また、必要に応じてタブレットを使用する場合があります。 ・年間5回の定期考査に加えて、提出物が重要な評価材料となります。ともに上記3観点すべてに影響しますので、しっかりと取り組んでください。 ・授業中の態度や取り組みの様子も評価材料になります。 ・Microsoft Teams で学習の指示をする場合がありますので、毎日確認をしてください。
--

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（国語科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

3年次の科目「実践国語」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識（言葉には思考が関係すること、表現に気を付けること、常用漢字を適切に用いること、実社会で用いる文の組み立て方や比喩表現などを理解すること）や技能を身に付けるとともに、論理的な文章に対する理解を深めようとしている。	話すこと・聞くこと・書くこと・読むことに関する事項（目的や場に応じた適切な話題を決めて検討すること、自分の考えが的確に伝わるよう論理展開を考えると、表現の特徴をとらえて相手の理解が得られるように工夫すること、論理展開を予想しながら聞いて聞き取った情報を整理して自分の考えを深めること、論点を共有して考えを広げながら議論の進め方を工夫すること、文章の種類を踏まえて内容を的確にとらえながら要旨を把握すること）を身に付けている。	論理的な文章の理解を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図ろうとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・年間5回の定期考査に加えて、提出物が重要な評価材料となります。ともに上記3観点すべてに影響しますので、しっかりと取り組んでください。
- ・授業中の態度や取り組みの様子も評価材料になります。
- ・毎回の授業で教科書を用います。教科書の特性上、本文理解ということがとても重要です。教科書の用意を忘れないようにしてください。また、必要に応じてタブレットを使用する場合があります。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（国語 科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

4年次の科目「教養国語」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。 また、自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。	正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・教科書の他に副教材ワークを用います。科目の特性上、自らの考えを文章に表すということがとても重要です。自分の言葉を文章にするために必要な表記上の決まりについて学んだり、語彙力を増やしたりするための学習を行います。教科書や副教材の用意を忘れないようにしてください。また、必要に応じてタブレットを使用する場合があります。
- ・年間5回の定期考査に加えて、提出物が重要な評価材料となります。ともに上記3観点すべてに影響しますので、しっかりと取り組んでください。
- ・授業中の態度や取り組みの様子も評価材料になります。
- ・Microsoft Teams で学習の指示をする場合がありますので、毎日確認をしてください。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（国語科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

2年次以上の科目「現代文演習」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
大学入試に必要とされる実社会で用いられている文章や段落の構成また多様な文章表現を理解する知識及び技能を身に付けるとともに、本文から解答の根拠を探しながら読解を深めようとしている。	論理的文章や文学的文章においてその因果関係や対立関係（二項対立）、共通点や相違点に注意しながら筆者の主張を読み取ろうとしている。また報告書や新聞記事、規則や法令に関する文章、グラフや図表から情報を読み解き理解しようとしている。	意欲的に授業に臨み、大学入試に向け論理的な文章を的確に読み取り、言語感覚を磨いて求められている課題解決を図るために、国語の能力の向上を図ろうとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ① 授業では「共通テスト・論理文学編」をメイン教材として演習と解説を綿密に行います。
「共通テスト対策・実力養成編」は自身で学習計画を立て主に家庭学習で進めていきましょう。授業で学んだことや学習の方法などを家庭学習で復習し定着させることが肝要です。
- ② 授業には積極的に取り組み、予習をすることで自身の課題を明確にしわからないところは質問をして課題解決をその都度図りましょう。
- ③ 重要な観点は赤ペンで、わからないところや質問をしたい問題や語彙は青ペンでマークすることをお勧めします。国語では、わかる、わからないをきちんと区別し意識して問題を解くことが大切です。
- ④ 定期的に外部模試を受験し、どの分野の力が不足しているのか、また受験生全体の中で自分がどの位置にいるのかを客観的に把握してください。少しずつでも伸びが自覚できるとモチベーションを維持しまた向上にもつながります。
- ⑤ 新聞の社説や過去問題を定期的に読んだり解いたりすることで長文読解に慣れ自信がつきます。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（地理歴史科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

1年次の科目「地理総合」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識>学習単位を通して地理学習の5つの主題をつかむことができたか。地誌学習において、地方的特殊性と一般的共通性を把握することができたか。 <技能>読図・描図等の地図操作力が身についたか。グラフや資料を分析・活用する力が身についたか。	<思考・判断>地理学習の5つの主題を用いて学習単元の事象を分析しそこから予測や行動規範を導くことができるか。 <表現>地図を活用したり、データを解析しグラフとしてまとめたりすることができるか。実際地域で学習したことから分析や導くことができるか。	作業的な学習に積極的に取り組むことができるか。 提出物をきちんと提出できるか。 わからないことをそのままにせず、わかるまで取り組むことができるか。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ① 授業に遅れない、休まないこと。
- ② 積極的に授業に取り組むこと。
- ③ 次に学ぶところの教科書等に目を通しておくこと。
- ④ 授業後にわかったこと、わからなかったことを整理しておくこと。
- ⑤ わからなかったことは先生に聞くこと。
- ⑥ 地図帳を活用すること。
- ⑦ 色鉛筆やラインマーカーなどを活用して自分流のノートづくりをしっかりとすること。
- ⑧ ファイルを用意して配布物を整理し管理しておくこと。
- ⑨ 提出物はかならず提出すること。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（地理歴史科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

2年次の科目「歴史総合」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 世界史とその中の日本史を相互の視点から捉え、現代の諸問題がどのように成立していったか、近現代史を通して理解することができるか。 <技能> 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	<思考・判断> 近現代史の変革や事件の歴史的意義を、その時代背景、経緯、現在のつながりに着目して多面的・多角的に考察できるか。 <表現> 歴史的な問題をよく理解し、因果関係を分かりやすく発表できるか。場合によっては解決を視野に入れた構想を説明したり議論したりできるか。	よりよい社会の実現を視野に課題を解決しようとする態度を養えるか。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深められるか。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 定期考査は年5回です。担当によっては小テストが行われる場合もあります。日々の授業をおろそかにしないようにしましょう。
- 授業態度は大きな評価材料になります。積極的に授業に参加しましょう。
- 提出物（ノート（プリント）、ワーク（『歴史総合近代から現代へノート』）、夏季休業期間課題など）も評価の対象です。必ず指定された締切を守って提出してください。
- 端末を使用することがありますので、担当の指示に従ってください。
- 家庭学習の際は、歴史用語をなんとなく覚えるのではなく、「いつ誰がどうした→その結果何がどうなった」と説明できるようにしましょう（予想問題を自作すると効果的です）。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（地理歴史科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

3年次の科目「近代の東京」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 日本史を東京都民の視点から捉え、現代の諸問題や地域形成が江戸時代からどのように成立していたか、近現代史を通して理解することができるか。 <技能> 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	<思考・判断> 近現代史の変革や事件の歴史的意義を、その時代背景、経緯、現在の東京へのつながりに着目して多面的・多角的に考察できるか。 <表現> 歴史的な問題をよく理解し、因果関係を分かりやすく発表できるか。場合によっては解決を視野に入れた構想を説明したり議論したりできるか。	よりよい社会の実現を視野に課題を解決しようとする態度を養えるか。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される東京都民としての自覚、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深められるか。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

□定期考査は年5回です。担当によっては小テストが行われる場合もあります。日々の授業をおろそかにしないようにしましょう。

□授業態度は大きな評価材料になります。積極的に授業に参加しましょう。

□提出物（ノート（プリント）、夏季休業期間課題など）も評価の対象です。必ず指定された締切を守って提出してください。

□端末を使用することがありますので、担当の指示に従ってください。

□家庭学習の際は、歴史用語をなんとなく覚えるのではなく、「いつ誰がどうした→その結果何がどうなった」と説明できるようにしましょう（予想問題を自作すると効果的です）。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（地理歴史・公民科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

4年次の科目「時事問題」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT や AI 技術、国際平和など、今日の社会をとりまく現状と課題について十分理解できている。 また、信頼性の高い情報源からの確に情報を収集し、適切に整理することができている。さらに、近年の日本や世界の動向に関する資料も収集し、知識の補強や考察・構想のための参考資料といった形で適切に扱うことができている。	近年の世界が抱える課題についての理解を踏まえながら、それらとSDGs の目標達成との関連性について、主体的に追究しながら多面的・多角的に考察している。また、他者が見聞きしても理解しやすいように考察した内容をまとめたうえで、要点を押さえた的確な説明をおこなうことができている。	ICT や AI 技術、国際政治をめぐる近年の動向に興味関心をもち、学習のふりかえりや調べ学習などを通じて積極的に知識の調整・定着をはかろうとしている。さらに、他者の意見などを踏まえながら、自身がまとめた内容を適切に改善できている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

☐ 定期考査は年5回です。担当によっては小テストが行われる場合もあります。日々の授業をおろそかにしないようにしましょう。 ☐ 授業態度は大きな評価材料になります。積極的に授業に参加しましょう。 ☐ 提出物も評価の対象です。必ず指定された締切を守って提出してください。 ☐ 端末を使用することがありますので、担当の指示に従ってください。 ☐ 毎日のニュースを意識して生活する態度が大事です。日々のニュースを読み解く力を養うことが重要です。
--

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（公民科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

2年次の科目「公共」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
民主政治の誕生と発展・民主政治の意義・議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度・日本の政治機構の特徴・日本国憲法について理解する。 ・日本の現代経済社会の特徴や日本経済の発展・国際経済・国際社会の仕組みについて理解する。 民主社会の倫理について理解する	・資料・時事問題等の読解を通じて現代社会の課題について考察し、自分の意見をまとめ発表することができる。	・ニュース検定テキストを使い、検定へ取り組む姿勢がみられること。 現代社会の問題点を自分自身の問題としてとらえ探究できること。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・毎回の授業で教科書と演習ノートを使用します。
- ・毎日のニュースを意識して生活する態度が大切です。日々のニュースを読み解く力を養う事が重要です。
- ・毎日の積み重ねでニュース検定に挑戦し、将来の進路決定に役立ててほしいです。
- ・年間5回の定期考査に加えて、提出物が重要な評価材料となります。
- ・授業中の態度や取り組みの様子も評価材料になります。
- ・Microsoft Teams で学習の指示をする場合がありますので、毎日確認をしてください。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（公民科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

3年次の科目「経済を学ぶ」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・日本の現代経済社会の特徴や日本経済の発展・国際経済・国際社会の仕組みについて理解することができる。	・資料・時事問題等の読解を通じて現代社会の経済の課題について考察し、自分の意見をまとめ発表することができる。	・毎時間の授業へ取り組み、内容の確認・点検を受けている。 ・ニュース検定テキストを使い、自主的に検定へ取り組む姿勢がみられること。 ・現代社会の問題点を自分自身の問題としてとらえ探究できること。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・毎回の授業で教科書と演習ノートを使用します。
- ・毎日のニュースを意識して生活する態度が大切です。日々のニュースを読み解く力を養う事が重要です。
- ・毎日の積み重ねでニュース検定に挑戦し、将来の進路決定に役立ててほしいです。
- ・年間5回の定期考査に加えて、提出物が重要な評価材料となります。
- ・授業中の態度や取り組みの様子も評価材料になります。
- ・Microsoft Teams で学習の指示をする場合がありますので、毎日確認をしてください。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（数学科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

1年次の科目「数学Ⅰ」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連づけて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力を身につけている。	数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では教科書とノートやプリント、補助教材（エディノート）を用いて授業をすすめます。

また、必要に応じてパソコンを使用する場合があります。

定期考査は年間5回あります。定期考査では、「知識・技能」「思考・判断・表現」の2観点を、提出物や小テスト等においては3観点すべてに影響があります。

評価において提出物がかなり重要となります。必ず提出物は提出しましょう。

Microsoft Teams で学習の指示をする場合がありますので、毎日確認してください。

わからないことは、そのままにせず、その日のうちに授業担当者に質問しましょう。

授業を休んでしまいますと、そのあとの授業内容がわからなくなってしまうので、休まないようにしましょう。

スタディサプリ等も用いて予習や復習、学び直しを行うようにしましょう。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（数学科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

3年次の科目「数学A」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身につけている。	・図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身につけている。	・数学の良さを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、教科書とノートやプリント、補助教材（エディノート）を用いて授業をすすめます。また、必要に応じてパソコンを使用する場合があります。

定期考査は年間5回あります。定期考査では「知識・技能」「思考・判断・表現」の2観点に換算します。また、提出物や小テスト等においては3観点すべてに影響があります。

数学が苦手な生徒は、毎回の授業にしっかりと出席しましょう。さらに、評価において提出物については、必ず提出期限を守り、丸付けや赤で解法や答えを書き提出しましょう。

Microsoft Teamsで学習の指示をする場合がありますので、毎日確認してください。

わからないことは、そのままにせず、その日のうちに授業担当者に質問しましょう。

授業を休んでしまいますと、そのあとの授業内容がわからなくなってしまうので、休まないようにしましょう。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（数学科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

4年次の科目「数学B」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、教科書とノートやプリント、補助教材（エディノート）を用いて授業をすすめます。また、必要に応じてパソコンを使用する場合があります。 定期考査は年間5回あります。定期考査では「知識・技能」「思考・判断・表現」の2観点に換算します。また、提出物や小テスト等においては3観点すべてに影響があります。 数学が苦手な生徒は、毎回の授業にしっかりと出席しましょう。さらに、評価において提出物については、必ず提出期限を守り、丸付けや赤で解法や答えを書き提出しましょう。 Microsoft Teamsで学習の指示をする場合がありますので、毎日確認してください。 わからないことは、そのままにせず、その日のうちに授業担当者に質問しましょう。 授業を休んでしまいますと、そのあとの授業内容がわからなくなってしまうので、休まないようにしましょう。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（数学科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

2年次以上「数学Ⅱ」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
式と証明, 複素数と方程式, 図形と方程式, 三角関数, 指数関数・対数関数及び微分・積分における基本的な概念, 原理・法則, 用語・記号などを理解し, 基礎的な知識を身につけている。また数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などを身につけている。	式と証明, 複素数と方程式, 図形と方程式, 三角関数, 指数関数・対数関数及び微分・積分における数学的な見方や考え方を身につけ, 事象を数学的にとらえ, 論理的に考えるとともに, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えている。	式と証明, 複素数と方程式, 図形と方程式, 三角関数, 指数関数・対数関数及び微分・積分における考え方に関心をもつとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識し, それらを事象の考察に活用しようとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では教科書とノートやプリント、補助教材（黄チャート）を用いて授業をすすめます。 また、必要に応じてパソコンを使用する場合があります。 定期考査は年間5回あります。定期考査では、「知識・技能」「思考・判断・表現」の2観点を、出席状況や提出物、小テスト等で「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」の2観点を図ります。 Microsoft Teams で学習の指示をする場合がありますので、毎日確認してください。 わからないことは、そのままにせず、その日のうちに授業担当者に質問しましょう。 2時間連続の授業なので、授業を休んでしまいますと、そのあとの授業内容がわからなくなってしまうので、休まないようにしましょう。スタディサプリ等も用いて予習や復習、学び直しを行うようにしましょう。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（理科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

1年次の科目「科学と人間生活」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科学技術の発展が人間生活を豊かで便利にしてきたことや現代の人間生活に科学技術が不可欠であること、一方で科学技術の発展が環境問題などの課題をもたらしていることを、人間生活と関連付けて具体的に理解している。	さまざまな資料を意欲的に調べたり、対話を通して友達の考えを参考にして自らの考えを見直したりしながら、科学技術が人間生活に果たす役割や課題について多面的に考え、具体的に説明しようとしている。	科学技術が人間生活に果たす役割について、調べたことを基に多面的に考察し、根拠を明確にして表現している。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では教科書、ニューサポートを用いて進めます。この2つに加えて必要に応じてプリントやタブレットを使用していきます。定期考査は年間5回あるので日頃の授業から準備しておきましょう。

評価は考査の得点だけでなく提出物も非常に重要となります。必ず提出物は期限内に出しましょう。Microsoft Teams で学習の指示する場合があるため毎日確認してください。授業の欠席が多くなると内容がわからなくなってしまうため休まず出席できるようにしましょう。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（理科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

2年次の科目「物理基礎」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについての観察、実験などを行うことを通して、物体の運動と様々なエネルギーに関する概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けさせる。	物体の運動と様々なエネルギーを対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈、法則性の導出などの探究の方法を習得させるとともに、報告書を作成させたり発表させたりして、科学的に探究する力を育てる。	物体の運動と様々なエネルギーに対して主体的に関わり、それらの事物・現象に対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、教科書・プリントを用いて授業をすすめます。また、必要に応じてパソコンを使用する場合があります。評価において提出物がかなり重要となりますので、必ず提出物は出しましょう。また考査もかなり重要な評価材料となりますので、予習復習をし、試験に臨むようにしましょう。Microsoft Teams で学習の指示をする場合がありますので、毎日確認をしてください。 わからないことは、そのままにせず、その日のうちに授業担当者に質問しましょう。授業を休んでしまうと、そのあとの授業内容がわからなくなってしまうので、休まないようにしましょう。
--

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（理科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

1年次の科目「化学基礎」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質の構成とその変化, 原子や電子, イオン, 物質質量, 化学反応, 酸と塩基, 酸化還元に関してどのように日常生活や社会と関連しているか理解している。実験器具や操作方法, 薬品などに関する基本的な知識と技能を身に付けている。	実験結果やグラフ, 化学的な知識を結び付けて考察することができる。考察した内容やその過程を他者にわかりやすく記述することができる。実験のデータからどのような化学的現象が起きるのか判断し, 図や表, 化学反応式などで書くことができる。	学習した内容と日常生活の現象を関連付けようとし, 粘り強く考え論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では教科書、ニューサポートを用いて進めます。この2つに加えて必要に応じてプリントやタブレットを使用していきます。定期考査は年間5回あるので日頃の授業から準備しておきましょう。

評価は考査の得点だけでなく提出物も非常に重要となります。必ず提出物は期限内に出しましょう。Microsoft Teams で学習の指示する場合があるため毎日確認してください。授業の欠席が多くなると内容がわからなくなってしまうため休まず出席できるようにしましょう。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（理科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

2年次の科目「生物基礎」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生物の特徴、ヒトの体の調節、生物の多様性と生態系などに関して自身の生活と関連付けて理解している。 顕微鏡などの実験器具の操作方法や実験手技を身に付けている。	実験によって得られたデータを生物学的な知識と結び付けて考察・判断することができる。	生物に関する知識に基づいて物事を判断しようとする姿勢を持ち課題解決に取り組むことができる。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物基礎の授業では、実験・観察があります。その中で実験レポートを課します。この実験レポートが評価に加わるため、日々の授業には必ず出席するようにしてください。

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

1年次の科目「体育」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動において競争や協働の経験を通して、公平に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、実技や体育理論を通して運動の楽しさや必要性、技能を身に付けていきます。多クラス多展開を基本とし、丁寧に授業を行っていきます。

実技種目は入学年次より、体づくり運動と球技を中心として、陸上競技やニュースポーツなども幅広く行っています。体育理論として、座学を行うこともあります。

学校指定の体育着・体育館シューズを必ず着用してください。また、単元に応じて適宜パソコンを使用し授業の課題作成や振り返り等を行っています。

実技科目のため、出席がとても重要です。欠席しないようにしましょう。また、運動が苦手でも積極的に参加して取り組むことが大切です。

Microsoft Teams で学習の指示をすることが多いため、毎日確認してください。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（保健体育科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

2年次の科目「体育」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動において競争や協働の経験を通して、公平に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、実技や体育理論を通して運動の楽しさや必要性、技能を身に付けていきます。多クラス多展開を基本とし、丁寧に授業を行っていきます。

実技種目は入学年次より、体づくり運動と球技を中心として、陸上競技やニュースポーツなども幅広く行っています。体育理論として、座学を行うこともあります。

学校指定の体育着・体育館シューズを必ず着用してください。また、単元に応じて適宜パソコンを使用し授業の課題作成や小テスト、振り返り等を行っています。

実技科目のため、出席がとても重要です。欠席しないようにしましょう。また、運動が苦手でも積極的に参加して取り組むことが大切です。

Microsoft Teams で学習の指示をすることが多いため、毎日確認してください。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（保健体育科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

1年次の科目「体育」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動において競争や協働の経験を通して、公平に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、実技や体育理論を通して運動の楽しさや必要性、技能を身に付けていきます。多クラス多展開を基本とし、丁寧に授業を行っていきます。

実技種目は入学年次より、体づくり運動と球技を中心として、陸上競技やニュースポーツなども幅広く行っています。体育理論として、座学を行うこともあります。

学校指定の体育着・体育館シューズを必ず着用してください。また、単元に応じて適宜パソコンを使用し授業の課題作成や小テスト、振り返り等を行っています。

実技科目のため、出席がとても重要です。欠席しないようにしましょう。また、運動が苦手でも積極的に参加して取り組むことが大切です。

Microsoft Teams で学習の指示をすることが多いため、毎日確認してください。

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

4年次の科目「体育」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動において競争や協働の経験を通して、公平に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、実技や体育理論を通して運動の楽しさや必要性、技能を身に付けていきます。多クラス多展開を基本とし、丁寧に授業を行っていきます。

実技種目は入学年次より、体づくり運動と球技を中心として、陸上競技やニュースポーツなども幅広く行っています。体育理論として、座学を行うこともあります。

学校指定の体育着・体育館シューズを必ず着用してください。また、単元に応じて適宜パソコンを使用し授業の課題作成や小テスト、振り返り等を行っています。

実技科目のため、出席がとても重要です。欠席しないようにしましょう。また、運動が苦手でも積極的に参加して取り組むことが大切です。

Microsoft Teams で学習の指示をすることが多いため、毎日確認してください。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（保健体育科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

1年次の科目「保健」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、教科書とノート、ICT 機器を使用しています。ICT 機器を活用して小テストや課題作成等も行っています。また、単元に応じて実技を行うこともあります。

定期考査は年3回あるので、しっかりと学習をしましょう。

出席状況と提出物が評価においてかなり重要になります。提出物を指示された場合は、必ず提出しましょう。

グループワークやペアワーク、授業内で発言するなどの言語活動がある場合は、積極的に取り組みましょう。

Microsoft Teams で課題や小テストを配信されることがあるため、毎日確認をしてください。

わからないことがあれば授業担当者に積極的に質問するようにしましょう。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（保健体育科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

2年次の科目「保健」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、教科書とノート、ICT 機器を使用しています。ICT 機器を活用して小テストや課題作成等も行っています。また、単元に応じて実技を行うこともあります。

定期考査は年3回あるので、しっかりと学習をしましょう。

出席状況と提出物が評価においてかなり重要になります。提出物を指示された場合は、必ず提出しましょう。

グループワークやペアワーク、授業内で発言するなどの言語活動がある場合は、積極的に取り組みましょう。

Microsoft Teams で課題や小テストを配信されることがあるため、毎日確認をしてください。

わからないことがあれば授業担当者に積極的に質問するようにしましょう。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（芸術科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

1年次の科目「音楽Ⅰ」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①歌唱・器楽・創作・ソルフェージュ リズムや音程を正しく演奏できる。 他者の音や表現を聴き、調和して演奏表現できる。 楽器や曲にふさわしい奏法、身体の使い方などを身に付け、演奏表現できる。学習した知識を活かし、思考・判断したことを表現できる技能を身に付けている。 ②楽典・鑑賞 譜表や音名、楽語等について理解し活用している。曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解している。	①歌唱・器楽・創作・ソルフェージュ 知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創意工夫をして表現している。 他者との調和を意識して演奏表現している。 ②鑑賞 知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価やその根拠を考えたり、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考えたりし、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	①授業態度 授業内のルールやマナーを守り、主体的・協働的に学習に取り組んでいる。 知識や技能を修得し、表現力を高めようとしている。 ②提出物 教科書やプリント、楽譜に理解した知識や思考・判断したことを記し、提出している。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

実技科目のため、大前提として授業に出席し、主体的・協働的に学習に取り組むことが大切です。知識および技能を修得し、思考力・判断力・表現力等を身に付けることに対し、粘り強い姿勢で取り組んでください。 思考したことや工夫したこと、感受したことを積極的に表現したり共有したりして、豊かな感性を深めてください。 他者と協働的に演奏することから生まれる音楽の魅力を味わえるよう他者の演奏に意識を向け、自身の出した音をよく聴き、アンサンブルに取り組んでください。 ・楽器の演奏には指先を使いますので、爪を短く切ってください。 ・授業内容への質問がある場合は、各授業担当者に直接問い合わせてください（非常勤講師の場合は、基本的には担当授業の日時以外は学校にいません）。
--

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（芸術科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

1年次の科目「美術Ⅰ」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、平面・彫刻・デザイン・鑑賞の授業を行います。
作品制作が中心となります。また ICT を活用した授業も行います。
評価においては作品提出と出席率、授業態度が重要です。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（芸術科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

1年次の科目「書道Ⅰ」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・書の表現の方法や形式, 書表現の多様性について, 書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき, 作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け, 表している。	・書のよさや美しさを感じ, 意図に基づいて創造的に構想し, 個性豊かに表現を工夫したり, 作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え, 書の美を味わい, 深く捉えたりしている。	・書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

・はじめに、書写と書道の関係や考え方の違いを理解します。 ・授業では、基礎的な毛筆の学習から始まり、「楷書・行書・隸書・篆書」の古典を学び、「仮名の書」「写経」「漢字仮名交じり文の書」を書きます。 ・中国と日本の有名な古典の臨書が中心となります。またICTを活用した授業も行います。 ・入学後に購入した書道用具（中筆・小筆・墨汁等）を忘れずに授業に持ってきてください。 ・評価においては、作品提出状況と授業への出席率、授業態度が大切です。 ・学校から借りた大判の下敷きは丁寧にたたみ、元の場所に返してください。また、硯や墨池は必ず、水洗いをしてください。 ・授業内容への質問については、各授業担当者に直接お問い合わせください（原則として、授業の日と担当している時間しか学校にいません）。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（家庭科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

2年次の科目「家庭総合」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・毎回の授業で教科書・資料集を使用します。また、必要に応じてタブレットを使用する場合があります。
- ・家庭科の授業では、被服実習などの実習に参加することや、課題や作品を期限内に提出することがとても大切です。評価に大きくかかわるのでしっかり取り組んでください。また、定期考査も実施しますので、計画的に予習復習をしておきましょう。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（家庭科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

3年次の科目「家庭総合」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
子どもの発達と保育や、健康的な食生活、快適な住生活などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・毎回の授業で教科書・資料集を使用します。また、必要に応じてタブレットも使用する場合があります。
- ・家庭科の授業では、調理実習などの実習に参加することや、課題やレポートを期限内に提出することがとても大切です。評価に大きくかわるのでしっかり取り組んでください。また、定期考査も実施しますので、計画的に予習復習をしておきましょう。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（家庭科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

3年次の科目「再履修家庭基礎」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・毎回の授業で教科書を使用します。また、必要に応じてタブレットを使用する場合があります。
- ・家庭科の授業では、被服実習などの実習に参加することや、課題や作品を期限内に提出することがとても大切です。評価に大きくかわるのでしっかり取り組んでください。また、定期考査も実施しますので、計画的に予習復習をしておきましょう。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（外国語科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

1年次の科目「英語コミュニケーションⅠ」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
英語の基本的な文法を理解するとともに、取り上げられている語句の正しい発音を身につけている。また、それらを用いて英文を読んだり、書いたりする知識・技能を身につけている。	本文の内容を読み取り、その概要や要点を把握するとともに、自分の考えや気持ちを短い英文を用いて表現することができる。また、クラスメイトとの英語での簡単な意見・情報の交換や情報の整理などができる。	英語の特性を理解し、本文を主体的に理解しようと努め、必要な情報を積極的に理解しようとしている。 また、担当教員やALT、クラスメイトと積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では教科書、ワークブック、DataBase2000、タブレット端末を使用します。担当により、ノート、ファイル当が必要になります。

定期考査は年に5回あり、週に1回程度 DataBase2000 より10点分の単語テストを行います。日々の積み重ねが重要になりますので、単語テストもおろそかにしないようにしましょう。

定期考査ごとに提出物が担当より指示されますので、必ず提出するようにしてください。成績において重要になります。また、授業の連絡等はMicrosoft Teams を用いることがありますので、チェックを怠らないようにしてください。授業や考査を休んでしまった場合にはかならず担当者の元を訪れ、指示を仰いでください。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（外国語科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

2年次の科目「総合英語Ⅰ」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
英語の基本的な文法の知識を修得するとともに、語句や文の正しい発音なども身につける。またそれらを用いてまとまった量の文を読んだり、書いたりする知識・技能を身につけている。	まとまった量の英文を読み取り、それに関して適切な判断をしたり、自分の考えを英語で表現したりすることができる。またクラスメイトやALT、JET と簡単な英語でやりとりをすることができる。	英語という言葉の特性を理解した上で、教科書本文を主体的に読み解き、積極的に必要な情報を取り込もうとしている。また周りの人間と積極的に英語でコミュニケーションをとろうとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は教科書とプリント（もしくは1人1台端末のClass Notebook）を利用して進めます。担当によりファイルやノートが必要な場合もあります。またスタディサプリなどを使用しながら授業を進めていきます。 ・DataBase3300 より週2回程度の10点満点の小テストがあります。日々の積み重ねが大切です。おろそかにしないようにしましょう。1人1台端末を使って実施する場合もあります。用意しましょう。 ・リスニングの練習も行い、テストも定期的に実施します。 ・定期考査は年に5回あり、その際には提出物もあります。担当教員の指示通りに提出しましょう。 ・授業連絡はMicrosoft Teams を使用しますので、1日に1回は必ずチェックするようにしましょう。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（外国語科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

3年次の科目「総合英語Ⅰ」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
英語の基本的な文法の知識を修得するとともに、正しい発音なども身につける。またそれらを用いてまとめた量の文を読んだり、書いたりする知識・技能を身につけている。	まとめた量の英文を読み取り、それに関して適切な判断をしたり、自分の考えを英語で表現したりすることができる。またクラスメイトやALT、JET と簡単な英語でやり取りをすることができる。	英語という言語の特性を理解した上で、教科書本文を主体的に読み解き、積極的に必要な情報を取り込もうとしている。また周りの人間と積極的に英語でコミュニケーションを取ろうとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業は教科書とプリント（もしくは1人1第端末のClass Notebook）を利用して進めます。担当によりファイルやノートが必要な場合もあります。またスタディサプリなどを使用しながら授業を進めていきます。 単語帳より週1回10点のテストがあります。日々の積み重ねが大切な教科ですので。おろそかにしないようにしましょう。 また、リスニングのテストも定期的に行いますので、欠席してしてしまうと、その分の点数が入らなくなります。 定期考査は年に5回あります。定期考査の際には担当により提出物もあります。担当教員の指示に従うようにしましょう。 授業連絡においてMicrosoft Teams を使用しますので、必ず1日に1度はチェックするようにしてください。
--

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（外国語科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

4年次の科目「論理・表現Ⅰ」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・単語テスト。 ・年間5回の定期考査。 ・授業中でのプレゼンテーション ・タブレット端末の適切な利用。 ・既習文法事項を正しく理解している。 ・課題を提出する。	・年間5回の定期考査。 ・指名された際に考え、答えを導き出そうとしている。 ・ライティングの場面では基本的な文や語句を使って文を組み立てることができる。 ・発表において、相手を見ながら聞こえる音量で伝えることができる。	・教科書・タブレット端末などを机上に準備出来ている ・顔を上げて話を聞いている。 ・ペアワークや音読などに積極的に取り組んでいる。 ・指名された際に、答えようとする態度をとる。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では教科書・ワーク・データベース・リスニング教材を用います。単語テストを冒頭に行い、その後教科書に入るので、教材を忘れないようにしてください。また、必要に応じてタブレット端末を使用することがあります。 ・単語テストは毎回行いますので、忘れずに準備しておいてください。 ・基本的な文や語句を使って文を作り、クラスで発表することでプレゼンテーションの力を養います。 ・年間5回の定期考査に加えて、提出物が重要な評価材料となります。ともに上記3観点すべてに影響しますので、しっかりと取り組んでください。 ・授業中の態度や取り組みの様子も評価材料になります。 ・連絡は授業内もしくはチームズを利用しますので、こまめにチェックするようにしてください。
--

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（外国語科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

2～4年次の科目「英語コミュニケーションⅡ」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
英語の基礎的かつ応用的な文法を身に付けるとともに、それらを用いてまとまった量の英文を読み解いたり、まとまった量の英文を書くことができる。	応用的な英文を読み、それに対して適切な判断をしたり、自分の考えを英語で適切に表現できる。また英語教員と英語でやりとりをすることができる。	主体的に授業に臨み、積極的に英語を話そうとしている。また、ALTやJET, 日本人の英語教員と自発的にコミュニケーションを取ろうとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は教科書とプリント（もしくは1人1台端末のClass Notebook）を利用して進めます。担当によりファイルやノートが必要な場合もあります。またスタディサプリなどを使用しながら授業を進めていきます。 ・DataBase3300より週1回程度の15点満点の小テストがあります。日々の積み重ねが大切です。おろそかにしないようにしましょう。1人1台端末を使って実施する場合もあります。用意しましょう。 ・リスニングの練習も行い、テストも定期的の実施します。 ・定期考査は年に5回あり、その際には提出物もあります。担当教員の指示通りに提出しましょう。 ・授業連絡はMicrosoft Teamsを使用しますので、1日に1回は必ずチェックするようにしましょう。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（情報科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

2年次の科目「情報Ⅰ」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

本校はC A L L 教室のC A L L システムを活用した授業を中心に進めていきます。パソコン操作の基本は、やはりタイピングです。宿題とはしませんが、1人1台端末パソコンや自宅のパソコンなどを活用してタイピングの速度・精度を上げていきましょう。

教科書、ワークノート、筆記用具を毎授業で必ず持参してください。配布したものも紛失せず、年度末の授業まで整理しておきましょう。

授業は2時間続きです。1回の欠席で2時間の欠席となります。遅刻・早退も欠時に大きく響きます。

少しでも皆さんの実生活に直結することを学習して、自分の生活に役立ててください。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（情報科）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

4年次の科目「文書作成と表計算」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文書作成ソフトウェア、表計算ソフトウェアの特性を理解し、様々な機能、基礎的な数式や関数を活用した表を作成することができ、必要なデータを選択し適切なグラフを作成することができる。	情報の発信者として、必要な情報の選択、判断の基準となる情報リテラシーを活用し、指定された書式等で様々な情報を自ら整理して、表現しようとしている。	様々な文書や表、グラフに興味、関心をもち、講義で得た知識や技能を活用しようとしている。タイピング練習を繰り返し行い、向上心をもって授業に参加している。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

スマートフォンやウェアラブルデバイス等がわれわれの生活に密着して久しいが、上級学校でのレポートや論文の提出、さまざまな業務でまだまだパソコンを主体としてデータ処理が主流である。1人1台端末などを活用した日頃からタイピング練習は必須だ。授業で学ぶ知識や技能を本校卒業後も活用できるよう、Teamsも活用した復習も心がけてほしい。
--

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

4年次の科目「ビジネス基礎」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ビジネスに関する意義や役割を理解し、基礎的知識や技術を身に付ける。 ・ビジネスに関わる情報を主体的に選択し、活用する技能を身に付ける。 ・ビジネスの諸活動を合理的に処理し、その成果を適切に表現できるようにする。	・ビジネスの諸活動に関する問題の解決を目指し、自ら思考を深めることができる。 ・ビジネスの諸問題の解決方法について学習した知識を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付ける。	・ビジネスの諸活動に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むようになる。 ・ビジネスに対する望ましい心構えや実践的な態度を身に付けるとともに、自己実現に向けて意欲を持つようになる。 ・ビジネスの諸活動に対しビジネス社会の一員としての心構えや態度を身に付ける。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

みなさんが学習する「ビジネス基礎」は、単に教科の一科目として学習していくのではなく実社会に直結するビジネス能力を習得してもらうことを第一に授業を行なっていきます。そのためには知識の習得はもちろんですが、出席率や授業態度等もビジネススキルに関係することを意識して授業をうけてください。
--

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（総合的な探究の時間・人間と社会）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

1年次の科目「人間と社会」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識>「人間と社会」で学習する主題を把握することができるか。 「学ぶこと」と「働くこと」に関わる事柄が身についたか。 <技能>自己の生き方や進路に関わることからについて知らないことを調べることができるか。	<思考・判断>自己の進路に関することについて、主体的に考え、それに向かって計画的に行動することができるか。 <表現>人権にかかわることを考え、その尊重のために行動することができるか。	授業に遅れず休まないで積極的に取り組むことができるか。 提出物をきちんと提出できるか。 自己の課題を見つけ解決するような努力を行ったか。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

一般教科の授業とは異なり、いかに能動的に取り組むかというところをみていきます。「ひと」としての生き方を考える学習です。 18 歳選挙権・成人が導入されたことにより、高等学校のうちに、社会人としての自覚をしっかりと身につけてほしいと思います。 成人になると「責任」が求められます。「責任」を果たすことのできる人となっていくために、一般教科では学べないことを学びます。 キャリア目標でもある「多様な体験学習を通じて自己理解を深める」ことができるよう、様々なことに挑戦してください。
--

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（総合的な探究の時間）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

2年次の科目「総合的な探究の時間」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識>高校2年次で学習する主題や進路に関する校内的な規定など知識を習得することができたか。 「学ぶこと」と「働くこと」に関わる事柄が身についたか。 <技能>自己の生き方や進路に関わる事柄について、知らないことを調べることができたか。	<思考・判断>自己の進路に関することについて得た知識に基づき、他者とともに考えを深め、資料を収集し、適切に分析するなどの作業を計画的に行うことができるか。 <表現>人権にかかわることを考え、その尊重のためにグループワークに積極的に参加することができるか。	・グループワークなど、他者との協働に貢献できるか。 ・授業に遅れず、休まないで取り組むことができるか。 ・提出物、期限を守り提出できるか。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

一般教科の授業とは異なり、2年次のキャリア教育目標である「他者との協働」について意義を感じ、積極的に取り組むかというところをみていきます。 「ひと」としての「在り方生き方」を考える学習です。18歳選挙権・成人が導入されたことにより、高等学校のうちに社会人としての自覚をしっかりと身につけてほしいと思います。成人になると「責任」が求められます。「責任」を果たすことのできる人となっていくために一般教科では学べないことを学びます。 キャリア目標の詳細にある「仲間との協働を意識した職業研究を実施し、進路の方向性を明確にする」ことができるよう、様々なことに挑戦してください。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（総合的な探究の時間）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

3年次の科目「総合的な探究の時間」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識>高校3年次で学習する主題や進路に関する校内的な規定など知識を習得することができたか。 「学ぶこと」と「働くこと」に関わる事柄が身についたか。 <技能>自己の生き方や進路に関わる事柄について、知らないことを調べることができることができたか。	<思考・判断>自己の進路に関することについて得た知識に基づき、他者とともに考えを深め、資料を収集し、適切に分析するなどの作業を計画的に行うことができるか。 <表現>人権にかかわることを考え、その尊重のためにグループワークに積極的に参加することができるか。	・グループワークなど、他者との協働に貢献できるか。 ・授業に遅れず、休まないで取り組むことができるか。 ・提出物、期限を守り提出できるか。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

一般教科の授業とは異なり、3年次のキャリア教育目標である「希望進路の決定」について意義を感じ、積極的に取り組むかというところをみていきます。「ひと」としての「在り方生き方」を考える学習です。

18歳選挙権・成人が導入されたことにより、高等学校のうちに社会人としての自覚をしっかりと身につけてほしいと思います。

成人になると「責任」が求められます。「責任」を果たすことのできる人となっていくために一般教科では学べないことを学びます。

キャリア目標の詳細にある「培った力を意識し、様々なチャレンジを通して卒業後の進路を決定する」ことができるよう、この時期に様々なことに挑戦してください。

別紙 令和7年度 観点別学習状況の評価（総合的な探究の時間）

下に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

4年次の科目「総合的な探究の時間」の評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識>高校4年次で学習する主題や進路に関する校内的な規定など知識を習得することができたか。 「学ぶこと」と「働くこと」に関わる事柄が身についたか。 <技能>自己の生き方や進路に関わる事柄について、知識を収集・分析・共有に説教的に関わることができたか。	<思考・判断>自己の進路に関することについて得た知識に基づき、他者とともに考えを深め、資料を収集し、適切に分析するなどの作業を計画的に行うことができるか。 <表現>職業法規にかかわることを考え、その共有のために表現活動に積極的に関わるることができるか。	・グループワークなど、他者との協働に貢献できるか。 ・授業に遅れず、休まないで取り組むことができるか。 ・提出物、期限を守り提出できるか。

授業担当者からのメッセージ（学習方法等）

一般教科の授業とは異なり、最終年次のキャリア教育目標である「進路の実現」について意義を感じ、積極的に取り組むかというところをみていきます。 「ひと」としての「在り方生き方」を考える学習です。 18歳選挙権・成人が導入されたことにより、高等学校のうちに社会人としての自覚をしっかりと身につけてほしいと思います。 成人になると「責任」が求められます。「責任」を果たすことのできる人となっていくために一般教科では学べないことを学びます。 キャリア目標の詳細である「進路活動を通じて、社会人としての常識を身につけ、社会的自立を目指す」ことができるよう、この時期に様々なことに挑戦してください。
